

最近は、いろんなグッズが簡単に手に入るようになりました。一見すると何に使うのかわからないものも多いですね。下に買った5つの商品のうち、お弁当を除く4つの商品が何か、直ぐに分かった方は、かなりのネット通ですね。全て海外からの輸入商品です。答えをお知りになりたいければ、面倒ですがQRコードからアクセスして下さい。以下、4商品のヒントになります。旅行に持って行くと、場合によっては便利なものです。ただ、無くても全く困りません。重量は4つで僅か220g程度の軽量なものです。旅行と言えば、カメラは必需品ですが、よほど特別な写真を撮影しない限り、スマホで十分な写真が撮影出来ます。2〜3年前に「自撮り棒」なるものがヒットしましたが、実は1980年頃に、日本で発明されたものなんですね。その頃に世界で発売されたらしいのですが、全く普及せず、時代が変わって、特許も切れた30年後にヒットするなんて皮肉なものです。そんな自撮り棒に飽きた人向けに、ドローンで自撮りする商品も沢山出ています。自撮り棒では撮れないような、手の届かない空中からの映像が撮れる機械です。ドローンと言えば、2015年9月に、首相官邸に墜落するという事件があり、同年12月に「航空法」が改正されました。日本はドローンの規制法律が施行されたのは海外より遅く、この首相官邸での墜落事故を皮切りに多くの規制が誕生しました。重量が200g以上の機械は、この法律に縛られますが、200g未満のホビー用のドローンは、法律の適用がなく、都市でも好きに飛ばすことが出来ます。但し、国の重要施設（皇居、首相官邸、国会議事堂、原子力事業所、行政機関庁舎）や、代々木公園などの都立の公園や庭園では、ホビー用のドローンも飛行が禁止されています。因みに、違反者には1年以下の懲役または50万円以下の罰金が科されます。またドローンと言えば、旅行先などで、鞆の中のモノがドロンすることがありますが、そんな時に便利なデバイスも販売されています。予め、スマホとBluetoothで接続しておくと、スマホからこのデバイス呼び出したり、デバイスでスマホを鳴らすことも出来ます。鍵、財布にこのデバイスを取り付けておくと、見つからない時にスマホから検索することが出来るわけです。日本国内ではまだ普及していませんが、米国では、Crowd Locateネットワークによって、離れていてもGPSを利用して見つけることが出来ます。自転車やバイクなどの盗難にも役に立つ優れモノです。忘れモノが多い人には、大変便利なグッズの一つです。

そして鞆と言えば、出先で、どうしても床に置いたりしたくない場合がありますよね。そんな時に役立つのが「バッグハンガー」です。最近では、いろんな形状のものが販売されていますが、やはりシンプルで、重い荷物にも耐えられる余裕のあるものが安心です。そして最後は、車内などで音楽を聴いたりする場合、普通のイヤホンはコードが邪魔ですよね。最近では完全独立型ワイヤレスイヤホンで、長時間再生が可能なモノが発売されています。

①JRC H37 ELFIE
製品サイズ: (L) 65x (W) 135x (H) 25mm、重量: 73g

②TrackR
直径: 31mm、厚さ: 3.5mm

③Clipa 2
耐荷重: 15Kg、本体重量 348g

④Beat-in Power Bank
本体重量: 93g

©北海道新幹線「はやぶさ26号」E5/H5系3号車内

T O M O K O O ' S R E C O M M E N D

フルーツは大好きで当たり前ですが、お菓子を食べるより栄養価が高いし、肌にも良いので毎日食べます。よくフルーツパーラーやフルーツパフェ巡りをするので、春夏はジュシーで甘い果物が多くて嬉しい。老舗フルーツパーラーの安定したルックスの美しさと美味しさの今月のパフェで癒されています。その中で最近のオススメのパフェをご紹介します。去年オープンした世田谷・等々力「PÂTISSERIE ASAKO IWAYANAGI」。洋菓子店とは思えない外観は、シンプルでスタイリッシュ。勿論個性的で可愛いケーキもオススメですが、旬のフルーツを使ったパフェが美味すぎる!! 私が頂いた5月限定のスペシャルティメロンパフェは静岡県袋井市の最高級品種クラウンメロンが主役。まるで宝石のような美しさに目を奪われます♡ふんだんに盛られたメロンと、ほろ苦く微かにシュワシュワとくるトニックウォーターのジュレと高濃度ミルクジェラートが合わさった大人のパフェ。甘すぎたり単調な味に飽きたりすることなくペロリと完食。もうひとつのキウイのパフェも和風で美味しかった。6月限定のパフェは、無花果とゴルゴンゾーラチーズジェラートだそうですよ。ああ食べたい。今年の猛暑を水分たっぷりのフルーツを食べて乗り切りましょう◎



ご意見・ご感想は adtain@adproject.co.jp まで メールでお寄せください。
発行: 株式会社エーディープロジェクト 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-27-4

www.adproject.co.jp

皆様の いいね! をお待ちしております。

facebook adproject

もしくは、<https://www.facebook.com/adproject.japan>

adproject 公式 facebook を check
adproject がお届けするエンターテインメント情報を随時UP!!

2017 vol.061 **6**
Legend



この世界を、どの様に把握すれば良いのかわからないかという疑問に答える哲学概念として、「般若心経」の中で論じています。それは、この宇宙にある全ての「物質や現象」を意味する哲学概念として示しています。それは「空」と称したインド哲学でもあります。全て「空」と言う概念は、「0」の数値発想でもあり、ポジティブ概念の同じ基軸にあります。前段でも述べた「忘れる美学」にあるポジティブ手法の根幹でもあります。忘れる事に問題はない。何故なら、この世はゼロから発して、すべてはゼロに行きつくのだからと、やる気がわく世界に戻るのだから、全てが楽になる究極的なポジティブ概念の世界に誘うのだから、気楽に生きる現生は、程々の争いの無い思考回路を勧め、辛い事や悲しい事を忘れる忘却人生を勧めています。

■この星で無くしたもの
人生の半ばを越して、引き返せない道程で失った「色即是空」を模索した自分の勝手に価値ある事に語るならば、「やんちゃ」で「無鉄砲」で「負けん気」の強い次男だったと思います。兄が虐められたら、兄のクラスまで行き、相手を懲らしめたことで、檜垣家への災難は無くなったと言う武勇伝の持ち主だったと母から伝え聞いたのを思い出した。今は亡き母の言葉がこんなにも一生を導くとは考えもしなかった。まさに、これが「教え」と言うのかと、改めて感銘を受け脱帽し、常に母が仁王立ちしています。だからと言って、都合のいい時にだけしか母は居ません。いい存在です。すまぬ、母上殿。そして、この星で無くしたのは、「無邪気に生きる」ことの大切さのような気がします。私の人生後半のテーマとして歩んでいます。また、ポジティブ・マインドの肥しとして進んでいきます。adprojectとして、エンターテインメント志向にクリエイティブ・コンセプトを、ポジティブ・マインドの表現に、ニュアンスを求めた拡張2期から、3期へと移行します。無邪気なコンセプトを大切に、全ての「色即是空」に訴求し、挑戦すべきである。ただし、「無知」と「無恥」は、非なる事を忘れない事を心せよ。

■いい思い
人は「いい思い」をすることが大好きです。人間三大欲求を満たす事は、ただ欲求を満たす



モデル: Julie / Height:169cm B:94 W:69 H:93
事務所: ARTRICK ENTERTAINMENT (アートリック) <http://artrick.com>

adtainとは、adproject と entertain が融合した「おもてなし」のトピックス誌

だけです。これは、人から教わり、試験の正解として暗記しただけです。人は更に進んで、欲求は付加価値に求められ、「美しくなる」「健康に良い」などで商品の決め手になると思います。これからは、社会ストレスが商品のコピーと解消に役立つ食品が、「いい思い」をすることになります。全ては頭脳の中での理解なのです。流行やファッションなどもそうです。ストーリーの提示と想起が情報化時代には大切な事です。更に、ベネフィットをユーザと探る事も大切です。調査では知れない、言葉にならない異なった感情の誤差があるからです。それが、本当の顧客の困り込みやブランド化なのです。「いい思い」をする事は、友達作りに役立つのと同じです。SNSを中心に、デジタル情報という神経回路が網羅されたこの星では、「色即是空」の哲学概念を理解し、ポジティブな神経回路を活性化する快樂主義的な発想が必要なのです。この星がポジティブで「いい思い」のできる星になるためには、adprojectがポジティブで、「いい思い」のできる企業体になる必要があります。そのための「色即是空」志向でもあります。

の時代から脱却し、分散のパラダイムで珍マーケティングの拡張を重視すべきです。デジタル回路がここまで進化すれば文字情報が、映像情報が進めばコピー化が発達しますし、コピーが製品の製造過程に必須課程になります。同じく、思いや、慈しみや、愛しさなどもコピー商品としてネットでインストールできるようになります。時間を売るビジネスは既に始まっています。人工知能は、既に人間より高度な作業や思考が出来ます。まさに、ロボットをロボットと呼べない優秀な物体なのですが、そこは、「色即是空」のススメのadprojectです。時代は何も考えず、100年先があるのかないのかわからないのが「0」への帰還でもある「色即是空」の哲学思想への導きであろう。人々の思いを束ねる事が正義と称する悪質な政治哲学優先の時代に、ネガティブな集結の時代が終焉を告げるのも間もなくです。政府の許可制のマスコミが告げる検閲のある社会システムも終焉を迎えるであろう。ポジティブ回線はこれからポジティブ妄想隊の活躍に期待するところである。

■もっと。いい思いをする秘訣
集める事が基本だった旧態依然マーケティング

【隊員募集要項】
年齢、性別、性格、国籍問わず。明るく、人に見放され、夢想家で、長生きしない人。



秋葉 悠介

■Event： 思いやりティドライブ

■Date： いつまでも



想像してみてください。街をゆく全てのクルマが思いやりいっぱいだったら、もっと素敵な交通社会が成り立つはず。そんな想いをみんなで叶える思いやりプロジェクトがJAFから発信されました。

■第1弾のテーマは信号機のない横断歩道での一時停止



↓思いやりティドライブ WEB サイト



https://omoiyality.jp/

この現状を変えるために、私たち一人ひとりの「思いやり」が必要です。

僕は、クルマを保有していませんが時々レンタカーを利用することもあれば、普段、通勤に利用している自転車のドライバーでもあります。また、ドライバーに限らず交通弱者（歩行者）に対しても思いやりの気持ちを持てば、もっと安全で素敵な交通社会が成り立つはずなんです。

JAFでは、この活動に賛同していただき思いやりの輪を広めるために、『思いやりティドライブ』WEB サイトを立ち上げ、賛同メッセージを募集しています。賛同していただいた方には、ナンバープレート型 Thanks Card をプレゼントしています。思いやりのある行動を心がける気持ち。その想いをまわりの人々にも伝えたいという気持ち。その「Omoiyalty Drive」マインドが交通社会を変えるきっかけになります。「Omoiyalty Drive」に賛同して、あなたも一緒に思いやりの輪を広めませんか？ ※自動車を運転しない方もぜひご賛同ください。

Project 3.



前山 椋

■Event： 街コン潜入レポート

■Date： 5月某日

■Place： TOKYO

「どうが偶然なんてことをあてにしないでください。偶然のない人生というものもあるのですから。」ドストエフスキー

「恋は石ころよりもあふれてると思ってた。なのにダイヤモンドより見つけれられない。」シャ乱Q

こんにちは。元気の源がコーラの前山です（爆）先日友人から電話が掛かってきました。友：「そうだ！街コンに行こう！」そうじゃねーよ。だがしかし。イベントターたる者、噂の街コンを体験せずイベントを語れるのか？否。私：「了解した。」行って参りました噂の街コン。今回参戦したのは22～35歳（位）のパーティー街コン。現場に着くなり、サクッと指定の席に案内され、プロフィールカードを記入。※結構男性はラブな格好が多かったです。目の前には女性が3人！男は自分1人！ハーレムって案外良くない物だと知りました。なんか面接みたい...5テーブルに男女で割り振られ、MCさんの合図に合わせてスタート。10分くらいで移動の音が掛かり、男性が回転寿司の如くテーブルをぐるぐる回ります。ここで第1ピリオド。次のステージはフリータイム。各自で気になった人と喋ってねって感じですね。これが40分位。最後のステージはカード記入！気になる相手を番号で記入しマッチングしてくれる模様！→その後MCさんから両想い発表！との流れでした。※番号で呼ばれますがその時立ち上がってしまうと恥ずかしい思いをします。感想：女性と喋るのも楽しいですが、案外同性のイイ友人が見つかったりもします。※女性が好きです。意外と綺麗な方も多く、出会いを求めるとはいない場では？と思われます！男性は参加費高いですが...最初はどのテーブルでも同じ話を話すので、面戸くさい！と思う方は予め録音していきましょう。笑

Project 3.

What News OFFEE MASTERS 2017 EXECUTIVE PRODUCER：平田 元春

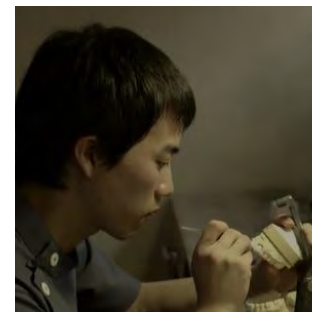


イベントの素晴らしさ

PRESIDENT： 檜垣 俊吾

イベントとは「モノ」ではなくプロデューサーをはじめ、さまざまな人の「アイデア」が結集した空間。コンビニエンスストアやスーパーで売られている商品のように手にとることはできないが、そこには夢や感動、そして多くの人に希望を与える力がある。また、イベントを作り上げるのは「人」ではなく、創造力をフルに発揮し、それを実際に形にしていく喜び、達成感は何度やっても飽きない。もちろん、途中には「生みの苦しみ」を味わうこともあるが、自分の手がけたイベントが初めて実現したとき、そしてそれが成功したときの喜びは今でも忘れない。我々の業界は、「仕事が好き」という人が非常に多い。自分自身が経験から得たもの、心の内側にあるものを形にしていく仕事だからこそ、心豊かな人生を送りながらキャリアを磨いていく魅力的な仕事である。我々は、世の中の動きに対する興味や好奇心、経験、そしてセンスなど、さまざまなことが問われる仕事。自身人間性が色濃く出る仕事ともいえるため、感性を磨いたり、自分自身を高め続ける努力が欠かせない。新人のうちは大きなイベントに携われなかもしれない。しっかりと経験を積んで実力を身に付ければ、何十万人、何百万人規模のイベントを任せられるチャンスもやってくる。この仕事の魅力は「自分の企画したイベントで、多くの人に感動を与えられる」という部分だ。「素晴らしいものを多くの人々に広めたい」と考える我々にとって、大きな喜びとやりがいを感じられる瞬間である。また、イベントは自分一人だけで完結するものではない。エンターテインメント分野のプロフェッショナルやディレクター、イベントスタッフ、報道関係者などと協力し、チーム一丸となって自分の企画したイベントを作り上げていくことも達成感の1つ。そしてそれらが次の仕事へのモチベーションを高め、さらなる飛躍に結びついていく。何より、楽しんでくれているお客様の姿を自分の目で直接見られることが、我々にとって一番の喜び。

秋元の思いつき旅... ぜったいに行かない?!



土井 晃範

■Event： SESAME STREET Character Greeting Ver.1

■Date： 2017年6月11日

■Place： 武蔵野大学(武蔵野キャンパス)

みなさまご無沙汰しております。ADプロジェクトのADこと、土井晃範(D:どいA:あきのり)です。本日は、みなさまに新たなご報告がございます。この度、弊社がライセンスを受けて展開させて頂いているセサミストリート事業の新担当に就任させて頂きました！余談ではございますが、昔ビッグスターを夢見て役者をやっていた私としては、再度思い出深い世界に携わることが出来て、非常に光栄に思っております。ちなみに、セサミストリートがNHKで放送されていたのはご存知でしょうか？私自身が物心付いた時には週末の一番元気の時間に放送されていたので、両親と一緒に食い入るように観ていたのを今でも覚えています。セサミと言えば『エルモ！』や『クッキーモンスター！！』と答える人が多いと思いますが、数多くいるキャラクターの中で私土井のイチオシキャラクターは『アーニー』です。アーニーと聞いて、顔が出てこない方もいらっしゃると思いますので、隣の写真をご覧ください。可愛いですよ〜！私はアーニーの陽気で楽天的なキャラクターが魅力的で、彼の宝物・アヒルの“ラバーダッキー”と一緒に風呂に入る姿がとても愛らしく感じます。ぜひ皆様も、今後は『アーニー』も合わせてチェックしてみてください！



そして私にとってのセサミストリート キャラクターグリーティング・第一弾目の案件をご紹介します。今回は、武蔵野大学(武蔵野キャンパス)のオープンキャンパスにてエルモとクッキーモンスターがグリーティングを行いました。講堂で行われる入試説明会にサプライズ登場をしたり、来校する高校生と触れ合ったりして、会場を盛り上げてくれました。体一つで喜びや感動を与えている光景を久々に目の当たりにして、羨ましくなりました(笑)エルモ達と共に私土井も、いつでも触れ合いに行きますのでぜひご一報ください。

Project 4.



PRODUCER： 岩下 信而

■Event： All Summer Long

■Date： 2017年6月

■Place： 竹芝〜品川〜日本橋ほか



今月のポートレートのワインは、先日来日した、我らキューピー顔のカリスマ、スティンクが、自ら所有するワイナリーで作った逸品。その名も自作のバラードから「When We Dance」。仕事のため公演を断念したばかりに、親しいソムリエがゲット。先月号でご案内した「カフェ・喫茶ショー」のラッキーコーヒーマシンブースは大盛況、定着したカウンターコーヒーの次のブームを探り、異業種の方も多数ご来場。これから秋にかけて、弊社が企画制作する数々のコーヒーのイベントに拍車がかかりました。さて今月は、この夏これからぼくが手掛けるイベントをご紹介します。最初は、アメリカ大使館主催「USニューフード・プロダクツ・トレードショー2017」(6月29日/ホテルインターコンチネンタル東京ベイ)。日本に紹介されていないユニークなアメリカ産食品の展示商談会と、急増する訪日旅行者に対応するため、世界中の食のスタイルの正しい知識をアメリカ産食品を使った、ビーガン、グルテンフリーなどのレシピの試食会。アメリカ大使館主催が続く。8月24日、品川ダッド・ボッドでは、アメリカ産クラフト・ウィスキー&ビールそして注目のハード・サイダーの試飲会。どちらもクオリティの高いB2Bプロモーション。続いては、オープンイベント。さいたま新都心のコークンシティ恒例の夏祭りなど商業施設やイベント会場では社員総出でお客様に楽しんでいただいております。そして今年からスタートするのは一正蒲鉾「うな次郎の日記記念イベント」(7月24日〜26日/日本橋ブリッジにいがた)。フランスをはじめヨーロッパでもヘルシーフードとして人気のオホーツク(カニカマ)でおなじみの一正蒲鉾さんが新たなヒット商品を開発。なんとうなぎの蒲焼風蒲鉾、「うな次郎」。7月26日が「うな次郎の日」に制定されたことを記念して記念日制定式、試食会などを実施します。会場にはCMキャラクターの秋元康方面の娘たちやNHK取材も。正式なリリースはしばしお待ちください。おかげさまで今年の夏もあわただしく終わりそう、だけ遊びたい...そんな夏にぼくがいつも聞いているのが、偉大なビーチ・ボーイズの名曲「All Summer Long」。木琴が♪タ・タ・タ・タ・タ・タ・タ・タと奏でるイントロが印象的。ジョージルカスの「アメリカン・グラフィティ」のエンドタイトルでも使われた。「君の家の前の車内で、君のブラウスにコーラをぶちまけた。(何をしていたのだろう)夏はずっと一緒にいたけれど、まだ君のことがわからない。夏が終わるまでもう長くないけど、でも今はまだ夏...」この夏忙し人は、仕事を楽しく、そして休みが取れる人は、思いっきり遊ぼう、だって今年の夏は一度きりだから、では次号、Ciao!